



IIXIL

デュオ 上げ下げ窓(SH)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注 意

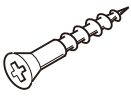
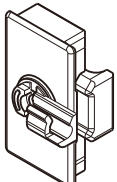
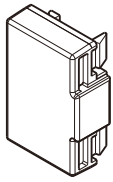
- 本製品は、複層ガラスを使用した場合、製品重量が最大30kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリー釘・木ねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントを掛けておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
 - 防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

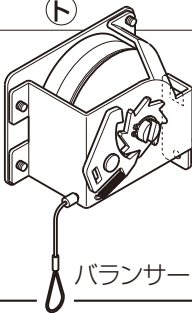
■取付け上のお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- balanser 部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の㊦～㊩は、部品・ねじの種類を示します。

㊦	㊧	㊨	㊩	ホ
				
スクリー釘 φ2.1×32	皿木ねじ φ3.1×20	アームスライダー	障子ストッパー	トラス小ねじ M4×6

balanser 取付け用	
㊦	㊩
	
バインド小ねじ M4×10	balanser

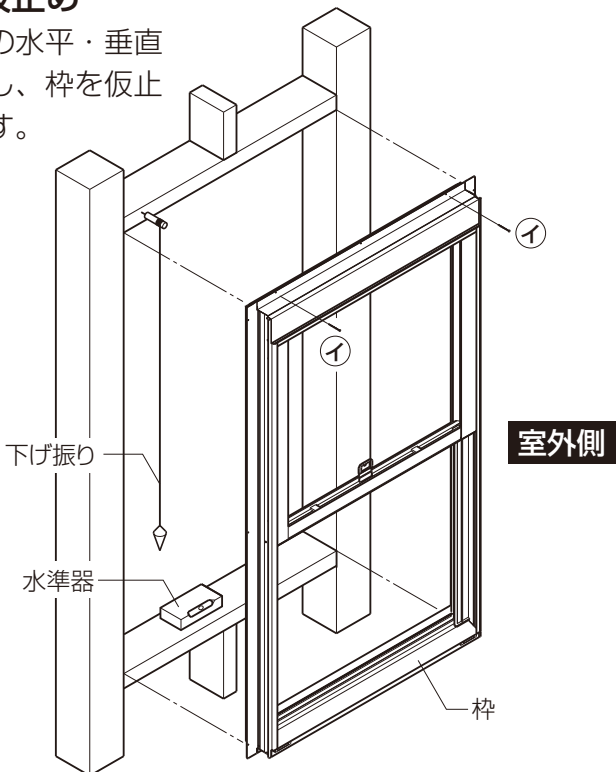
■取付け順序

- 1 枠の仮止め
- 2 枠の調整と固定
- 3 balanser の取付け
- 4 FIX部のガラス入れ
- 5 障子の建込み
- 6 balanser の調整
- 7 上枠カバー材の取付け

■取付け詳細

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

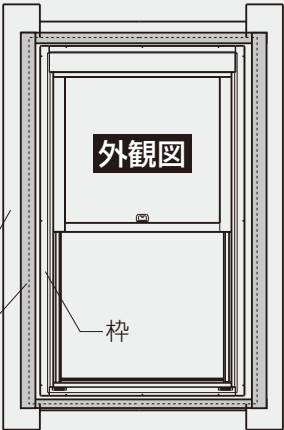


2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※固定後、必ずbalanserの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
開閉不良の原因になることがあります。

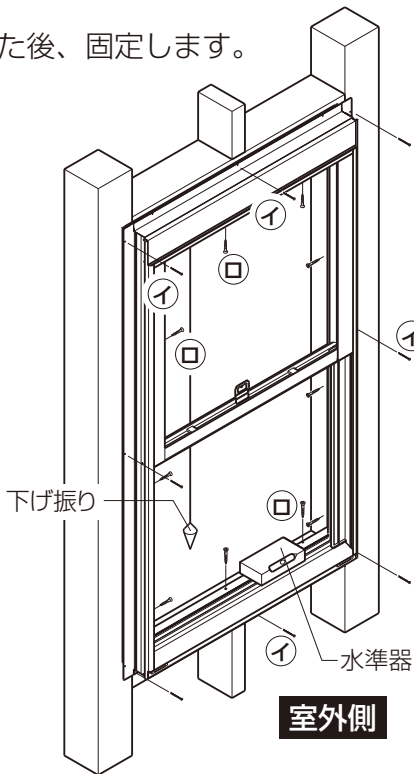
▲注 意

●本製品取付け後、
枠と躯体の取
合せ部に防水テ
ープ（別売り）を
張ってください。



外観図

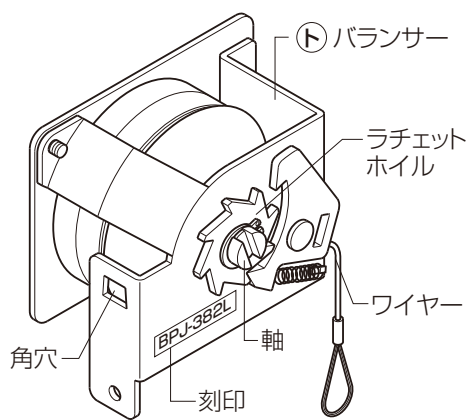
躯体
防水テープ
枠



3 バランサーの取付け

お願い

- ※障子建込み前にバランサーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建て込めなくなったり、バランサーが破損したりすることがあります。
- ※バランサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L（内観左）・R（内観右）を確認してください。

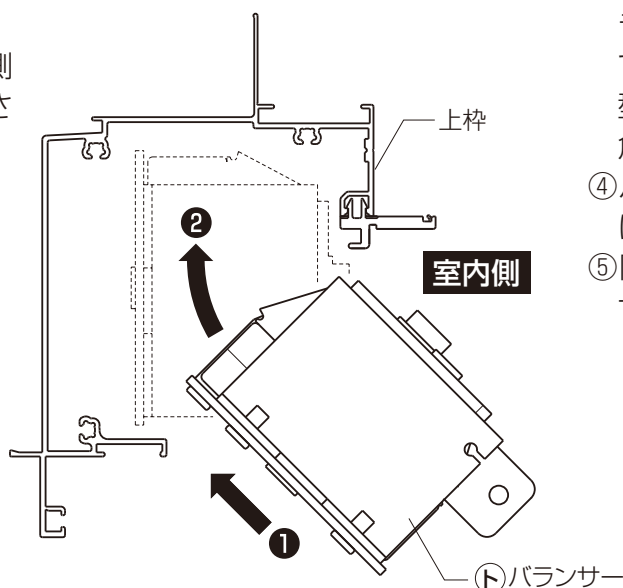


- ※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。
- ※バランサーは、FIX部のガラス入れ前後のいずれでも縦枠に取付けることができます。

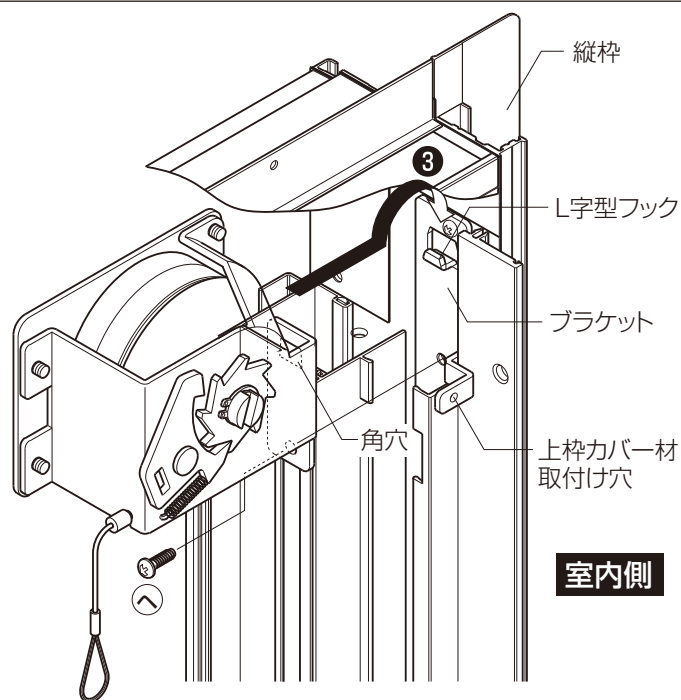
室外側

室内側

- ①バランサーを45°傾けて、上枠に差込みます。
- ②バランサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。



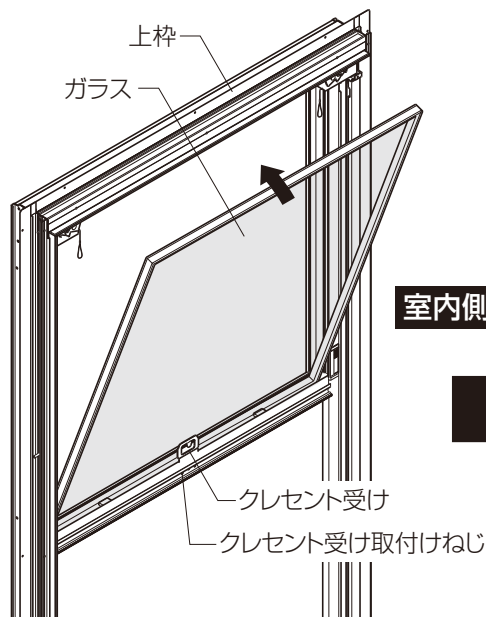
- ③バランサーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバランサーの角穴を引っ掛けます。
- ④バランサーをブラケットにねじ止めします。
- ⑤同様にもう一方のバランサーを取付けます。



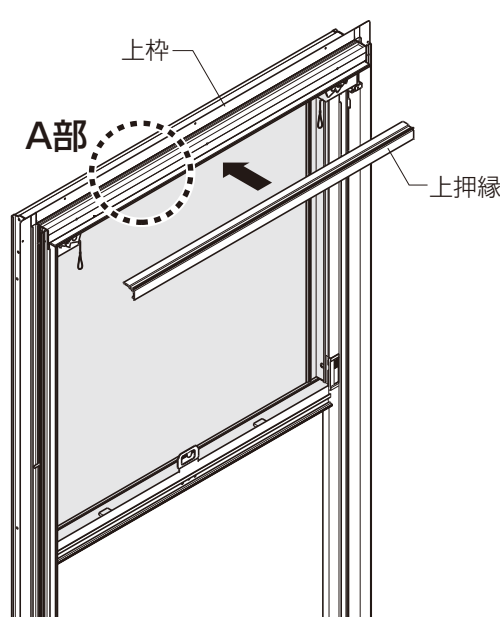
4 FIX部のガラス入れ

- ※面格子付上げ下げ窓（SH）の場合は、ガラスを入れる前に面格子の取付けを行ってください。

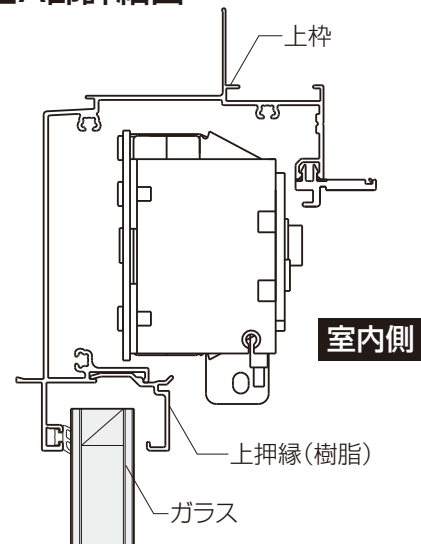
- ①ガラスを入れます。
- ※ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじを緩めてください。（クレセント受けは外さないでください。）



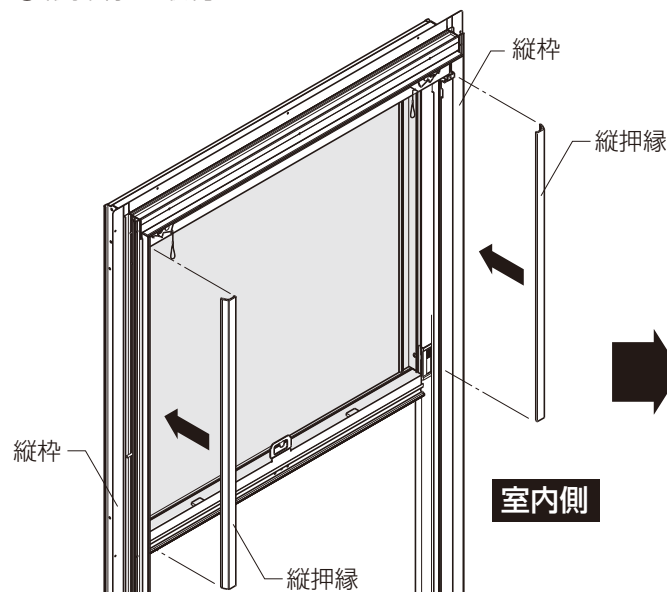
- ②上押縁を取付けます。



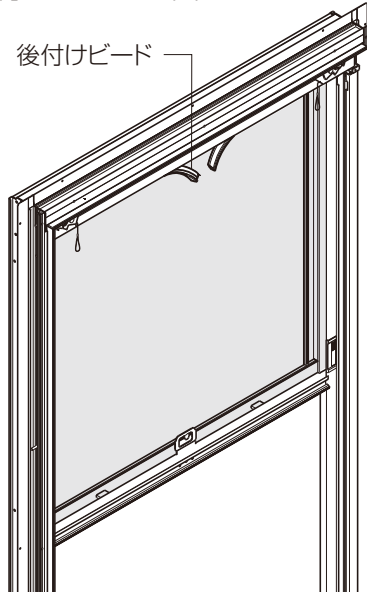
■A部詳細図



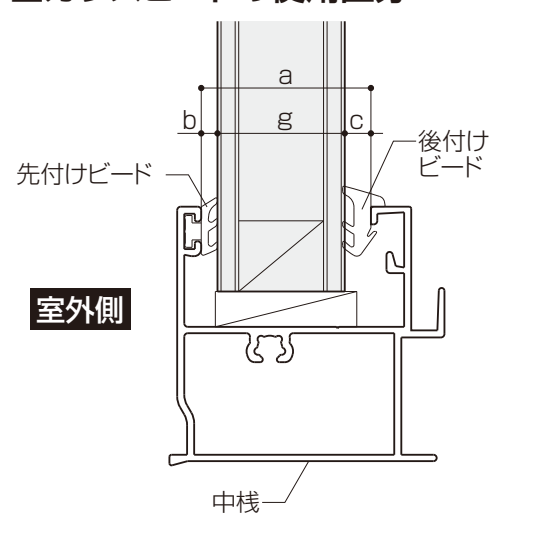
- ③縦押縁を取付けます。



- ④後付けビードを回します。



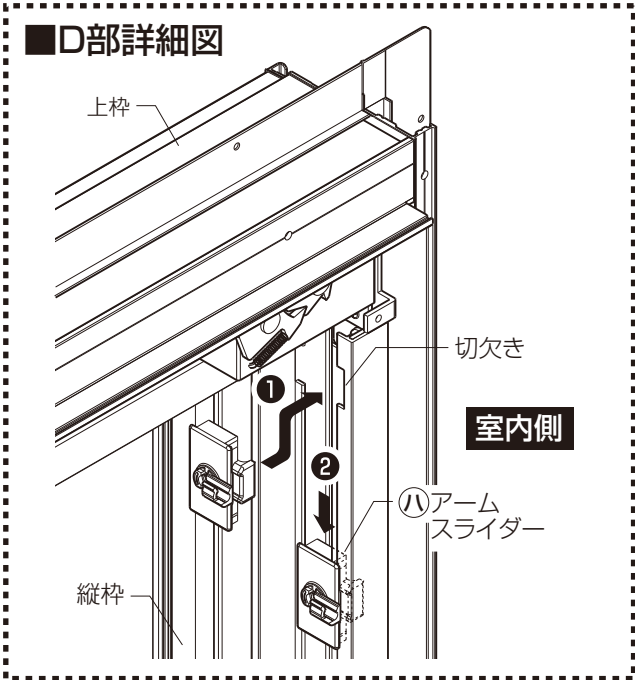
■ガラスビードの使用区分



■ガラスビード一覧表

SG(単板ガラス)a=14		PG(複層ガラス)a=24		先付けビード(b)		後付けビード(c)(別売り)	
ガラス厚(g)(mm)	ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成例					
2	12	3—6—3		3		9	
3	13	3—6—4		3		8	
4	14	3—6—5 4—6—4		3		7	
5	15	4—6—5		3		6	
6	16	3—6—6.8 5—6—5		3		5	
6.8	17	4—6—6.8 5—6—6		3		4	
8	18	5—6—6.8 3—12—3		3		3	

■D部詳細図

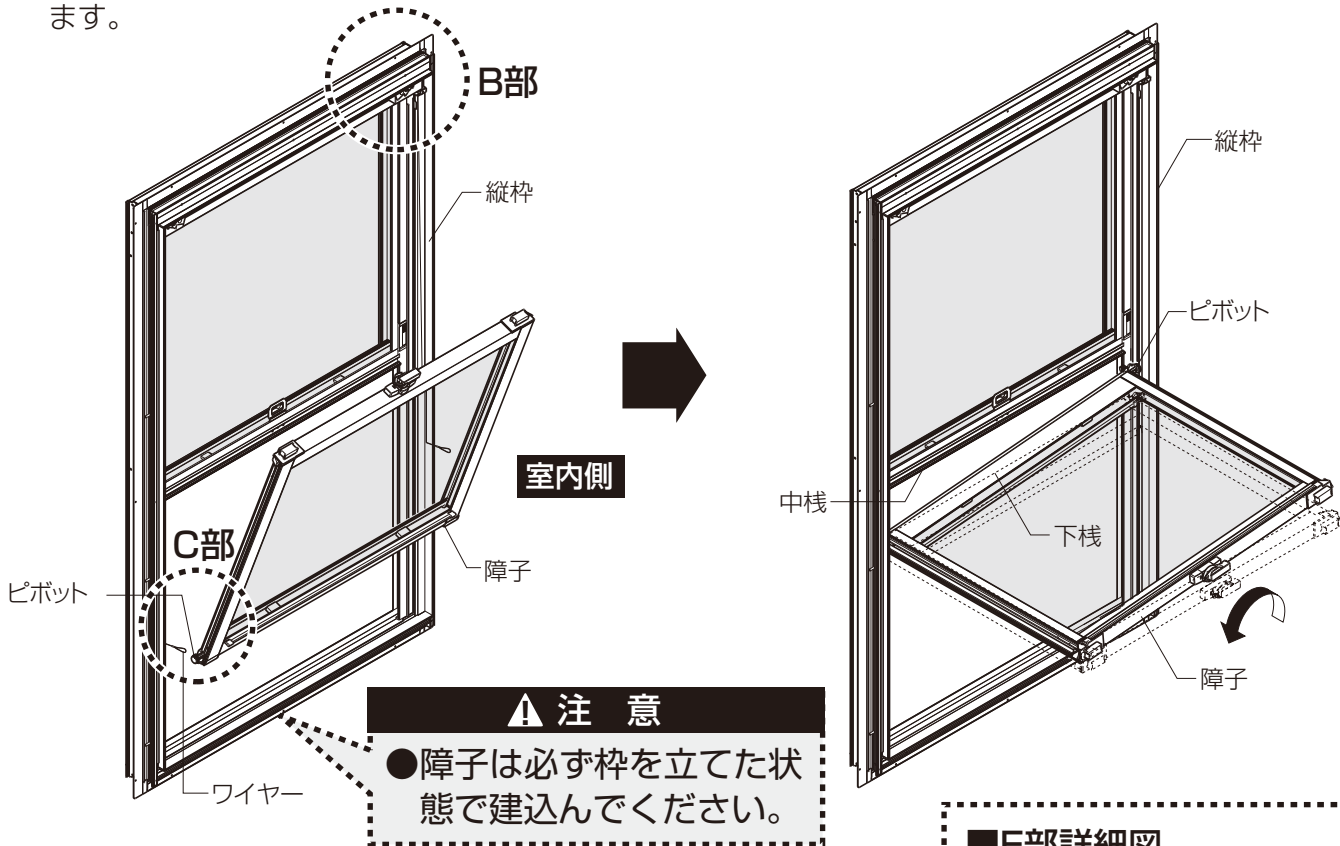


■障子の建込み

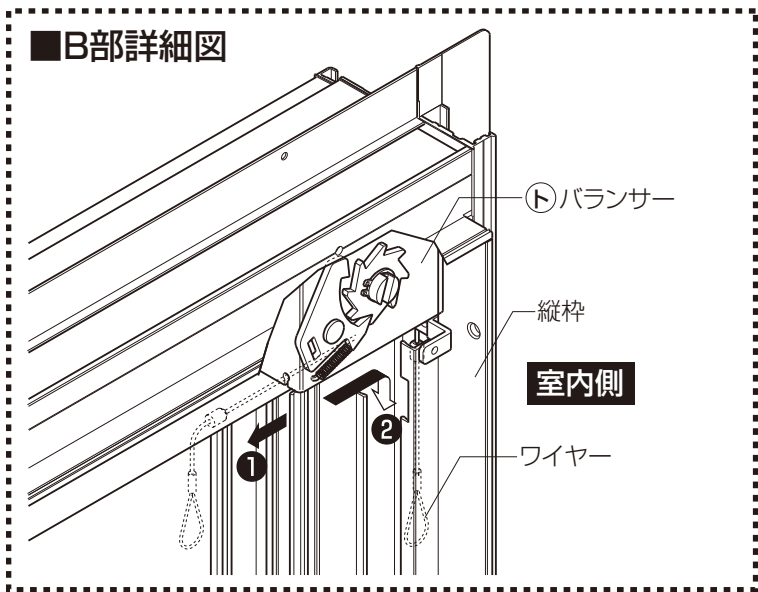
- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ② ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

- ③ 障子の下枠を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差込みます。

- ④ アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
- ⑤ アームスライダーに内倒しアームを固定します。



■B部詳細図



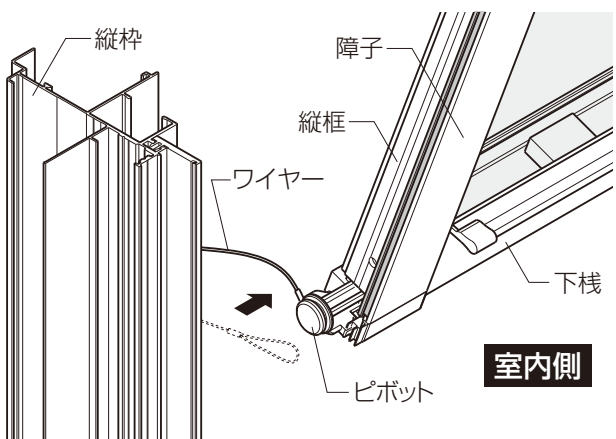
■E部詳細図

- ① アームスライダーに内倒しアームを差込みます。
- ② クリップを反時計回りに回し、内倒しアームにはめ込みます。
- ③ 内倒しアームを矢印方向に強く引っ張り、抜けないことを確認します。

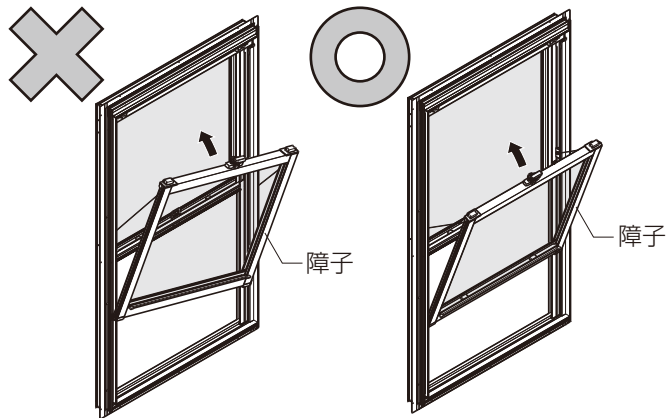


■C部詳細図

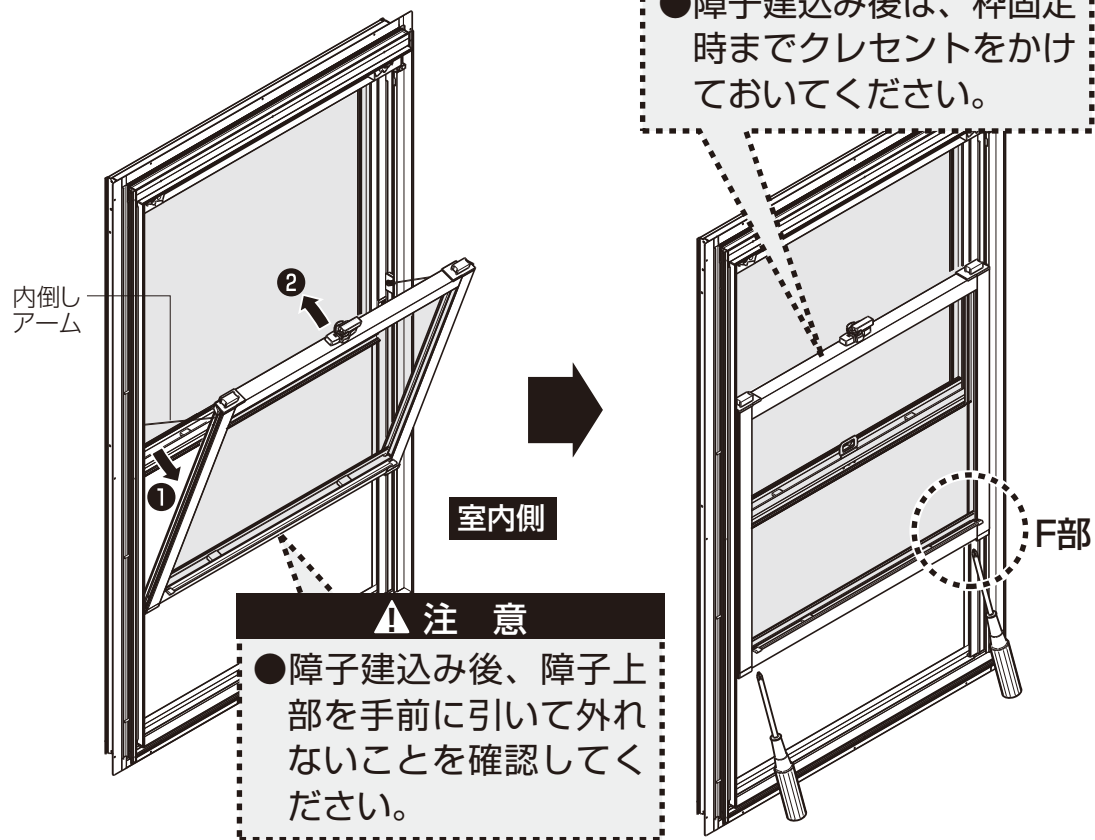
※ワイヤーは、必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れると、バランサーが破損するおそれがあります。



※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子が傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。



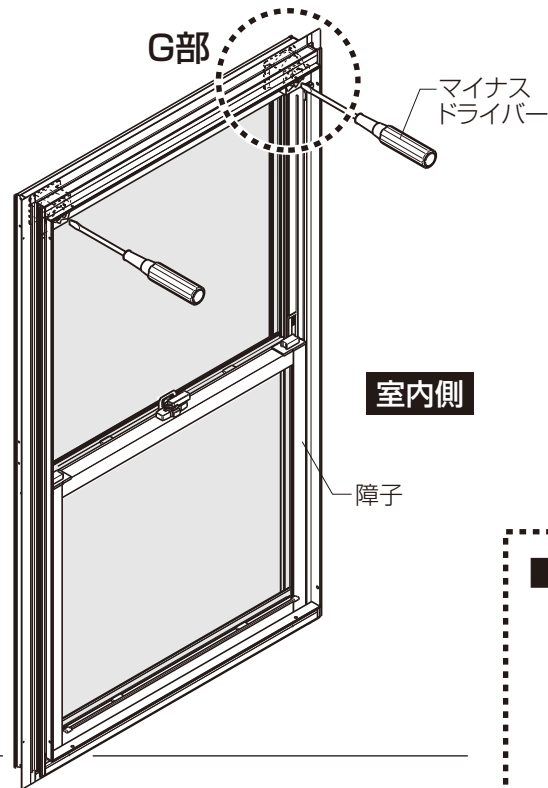
- ⑥内倒しアームを押し下げながら(①)障子を起し、「カチッ」という音がするまで室外方向に押付けます。(②)



6 バランサーの調整

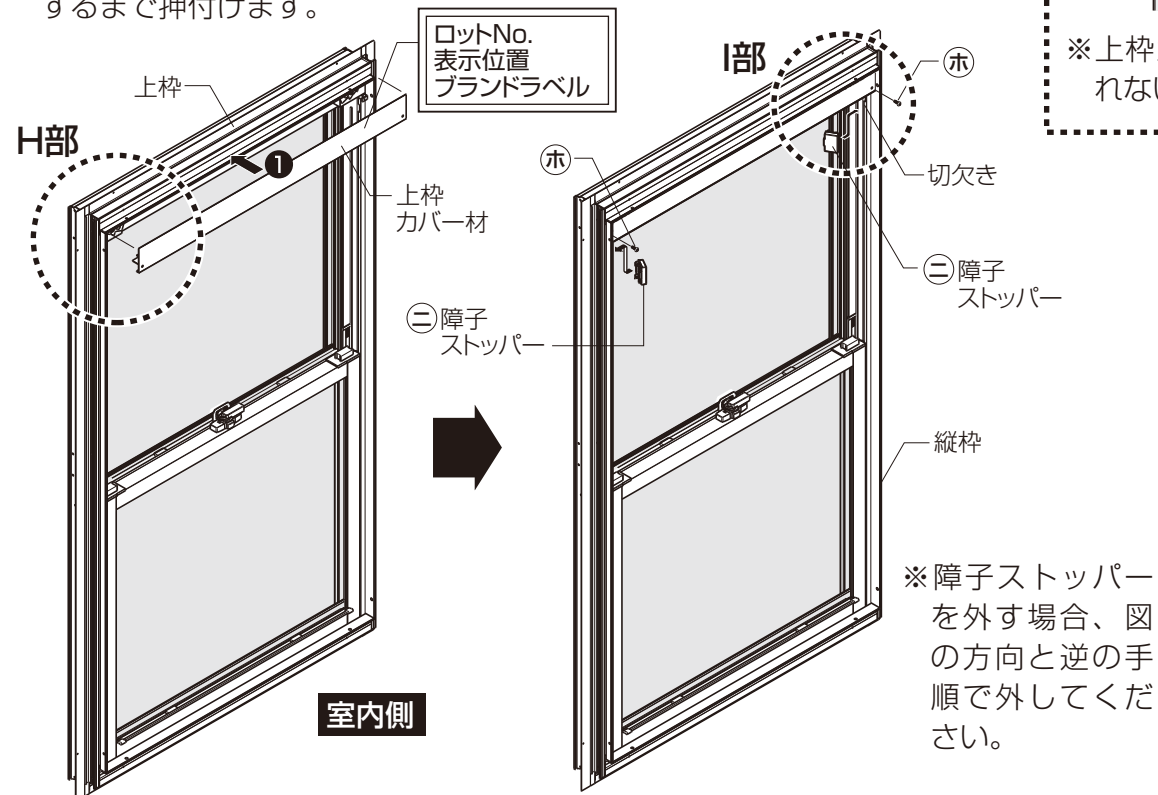
※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。

- ①障子を一番下に下げます。
- ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイルの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイルを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



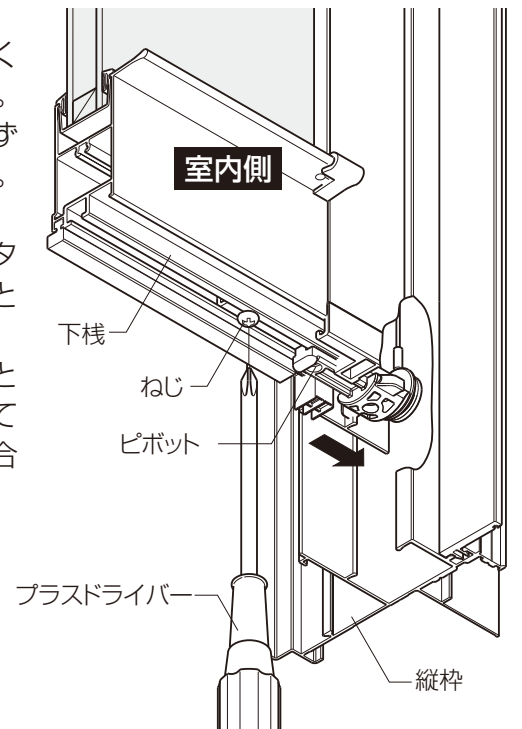
7 上枠カバー材の取付け

- ①上枠カバー材を上押縁の溝に押当てます。(①)
- ※左右のアングルを傷付けないようにしてください。
- ②矢印部を押し上枠カバー材をたわませながら(②)、上枠の溝にはめ込みます。
- ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ④障子ストッパーを縦枠の切欠きに室内側より引っ掛け、「パチン」と音がするまで押付けます。



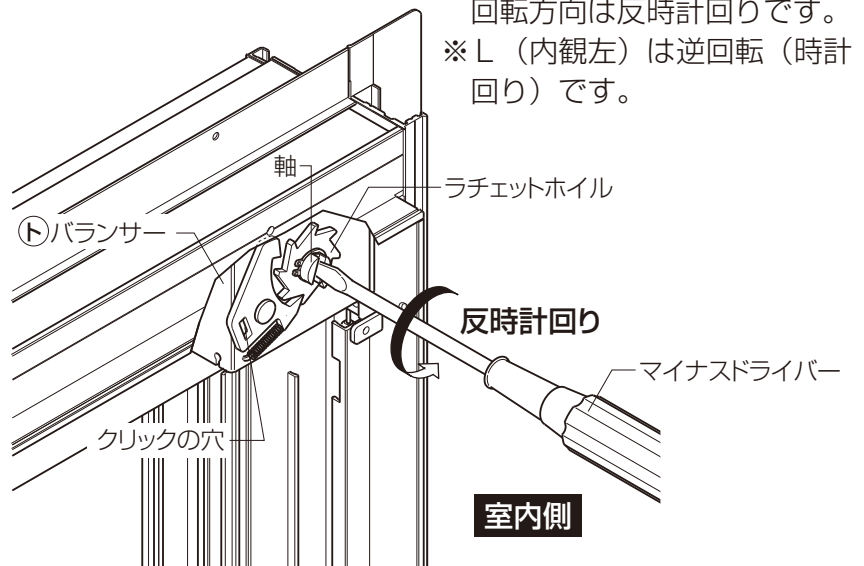
F部詳細図

- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
- ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
- ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。

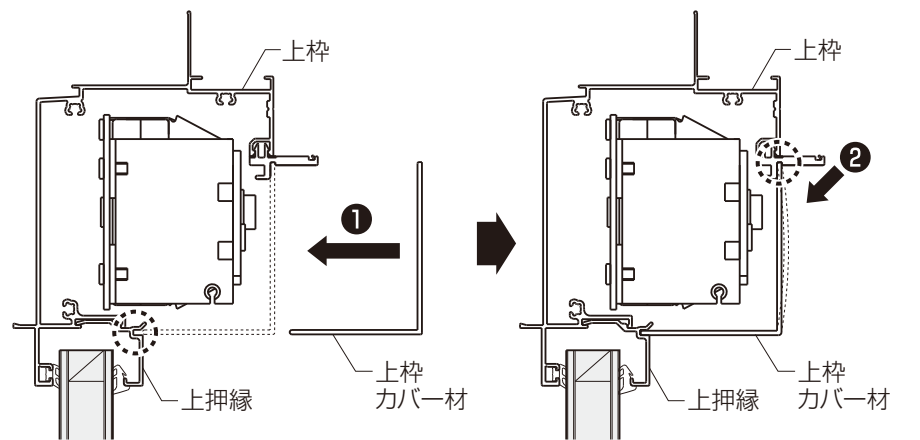


G部詳細図

- ※図はR(内観右)を示します。このときラチェットホイルの回転方向は反時計回りです。
- ※L(内観左)は逆回転(時計回り)です。



H部詳細図



- ※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、上記同様に上枠カバー材をたわませて外してください。

I部詳細図

